

八代市教育振興基本計画（案）に対する意見募集（パブリックコメント）の結果

1 意見募集の期間 令和7年12月23日（火）～令和8年1月19日（月）

2 意見の件数 9件

3 意見の取扱い

- ・寄せられた意見をもとに、計画（案）の修正を行うものについては、反映欄に「○」を付けています。
- ・上記以外については、今後の参考とさせていただきます。

No.	該当箇所	意見の概要	本市の考え方	反映
1	—	<p><給食内容の充実と保護者負担の在り方について></p> <p>給食の量を維持し、児童生徒の満足度を向上させてほしい。 保護者負担の増額（給食費改定）を含めた給食内容の充実を検討すべき。</p>	<p>本市では、食材費が高騰する中、栄養バランスを維持できるよう、献立の工夫や給食費の上昇分に対する公費負担などを行っています。 「保護者負担の増額」という前向きなご提案につきましては、非常に有り難いお申し出である一方で、経済的な事情を抱えるご家庭への影響など、慎重な検討が必要な課題も含まれております。 今後も、子どもたちがお腹も心も満たされる給食を提供できるよう努めてまいります。</p>	
2	6ページ	<p><中学生の学力について></p> <p>中学生になると学力が落ちている。なぜか。</p>	<p>一般的に、中学校進学後は学習内容が専門的かつ抽象的になり、全国的にも学習の定着に課題が生じやすい傾向（いわゆる「中一ギャップ」等）があります。現在、学校現場と連携し、本市独自の原因を詳細に分析し、課題解決を図っているところです。 本市では、引き続き、学習習慣の確立とともに、ICTの活用や個別最適な学び等による授業改善に努めてまいります。また、保護者の皆様の不安に寄り添い、子どもたちが自信を持って学習に取り組めるよう、学校・家庭・行政が連携した支援体制を構築してまいります。</p>	
3	12ページ	<p><外国語教育及び国際交流の記述内容と施策の方向性について></p> <p>計画書における英語教育の推進と、アジア圏を中心とした国際交流の記述が混在している点について、目的を明確にし、児童生徒に伝わりやすい表現に改めるべき。 また、英語圏への留学機会の拡充や、国際バカロレア教育の導入検討など、将来への期待につながるより高度で多様な教育機会を確保すべき。</p>	<p>アジア諸国とのビジネスや学術交流においても英語が標準的に使われており、子どもたちが将来、近隣諸国の人々と対等に交流・協力していくための主要なスキルとして英語力を位置付けています。また、外国語教育を通じて「自分たちとは異なる文化や価値観があること」を学び、その実践の場としてアジア圏を含む多様な地域との交流を推進しています。 本市が目指す「グローバルな視野を持つ人材の育成」に対する有効な手段や教育環境の充実に向けた調査・研究を、引き続き進めてまいります。</p>	

No.	該当箇所	意見の概要	本市の考え方	反映
4	15ページ	<p><教職員の校務用端末の整備と業務効率化の推進について></p> <p>現在使用している校務用端末の動作遅延や不具合を解消し、円滑な事務処理や教材作成が可能となる適切なスペックを備えた端末を整備して欲しい。</p>	<p>ご指摘いただいた端末の動作遅延は、「教育DXの推進」や「教職員の働き方改革」といった施策を推進する上での大きな課題であると認識しています。次期末の更新にあたっては、現場の教職員が円滑に業務を遂行できる環境を確保できるよう、努めてまいります。</p>	
5	9ページ	<p><学校体育館の空調設備について></p> <p>全ての市立学校の体育館に空調設備を設置して欲しい。</p>	<p>「安全・安心な学校づくり」を基本的な方向性の一つとして位置付けておりますが、近年の猛暑の影響による体育館の熱中症対策は喫緊の課題であると認識しています。本市では現在、避難所としての機能強化も含め18校にエアコンの設置を進めてきたところです。</p> <p>頂いたご意見は、今後の施設整備計画の優先順位や実施時期を検討する際の参考とさせていただきます。</p>	
6	基本目標2, 4, 5	<p><「誰一人取り残されない教育」について></p> <p>現状の課題解決が不十分なままでは形骸化するとの懸念から、実効性のある対応を求める。</p>	<p>すべての子どもが安心して学べる環境づくりを最優先事項の一つとして掲げています。学校、家庭、地域及び関係機関との連携を一層強化し、個々の状況に応じたきめ細かな支援と、事案の未然防止・早期解決に努めることで、計画の具現化を図ってまいります。</p>	
7	10ページ	<p><インクルーシブ教育の推進について></p> <p>教職員の障がい特性への理解不足や不適切な指導が懸念される。理念の揭示に留まらず、障がい理解の促進、合理的配慮の徹底、不適切指導の防止といった、教育現場の基盤整備を最優先で取り組むべき。</p>	<p>本計画において、インクルーシブ教育の推進を重要施策として位置付けており、教職員の専門性向上や障がい特性への理解は、教育環境を整備する上での基盤となるものと考えています。教職員研修の充実や合理的配慮の徹底等に取り組み、すべての子どもが安心して学べる質の高い教育環境の実現に努めてまいります。</p>	
8	15ページ	<p><9年間の育ちと学びをつなぐ指導の充実について></p> <p>教育現場における教職員としての不適切な言動や指導の在り方を課題視し、子どもの尊厳を守るための指導体制の徹底と改善を求める。</p>	<p>児童生徒の尊厳を傷つけるような不適切な指導は、いかなる場合でも、あってはならないと考えております。本計画に基づき、教職員のコンプライアンス意識の徹底や人権意識を高める研修を継続的に実施するとともに、相談体制の充実を図ることで、すべての子どもが安心して「生きる力」を育める教育環境の構築に努めてまいります。</p>	
9	全体	<p><教育行政への信頼確保と問題発生時の対応体制について></p> <p>計画の推進にあたり、学校及び教育委員会における不祥事や課題解決への対応の在り方を正し、組織としての責任の所在を明確にすべき。</p> <p>また、子どもの尊厳を守ることを最優先とし、不適切指導の根絶や被害を受けた児童生徒への誠実な対応、及び声を真摯に受け止める体制の構築など、教育行政としての信頼回復に向けた基盤整備を最優先に取り組むべき。</p>	<p>ご意見いただいた不適切指導の根絶や、事案発生時における児童生徒に寄り添った迅速かつ誠実な対応及び組織としての責任ある対応体制の構築は、教育行政への信頼を得るための極めて重要な基盤であると認識しております。</p> <p>教職員の資質向上、コンプライアンス意識の徹底等を図るとともに、相談体制や事案解決に向けた組織的な仕組みを強化するなど、すべての子どもが安心して教育を受けられる環境の実現と、市民の皆様へ信頼される教育行政の運営に努めてまいります。</p>	